

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	高齢福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔14〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム浅草					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム千束・特別養護老人ホーム谷中・特別養護老人ホーム三ノ輪					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,816,804,521円,歳出2,832,987,406円,収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区浅草4-26-2					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅で介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 4,588.35㎡のうち4,188.35㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 駐車場、ボランティア室、居室、食堂、浴室(機械浴、一般)、医務室など					
(6)人員体制	35名 内訳...施設長(1)、事務員(3)、相談員(3)、介護職員(常勤22、非常勤2)、看護職員(2)、理学療法士(1)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	47,811,000	47,811,000	43,030,000	45,991,280	47,501,000
	利用料金収入	356,200,000	358,235,000	356,812,000	357,145,000	352,000,000
	その他収入	7,430,000	9,831,000	17,974,000	11,838,720	19,552,000
	管理経費	411,441,000	415,877,000	417,816,000	414,975,000	419,053,000
決算	委託料	47,811,000	47,811,000	43,030,000	45,766,880	47,501,000
	利用料金収入	356,927,843	347,034,731	361,458,216	344,643,533	349,539,556
	その他収入	16,500,837	28,898,577	8,194,329	7,659,173	7,800,521
	管理経費	388,526,762	392,437,566	400,892,245	417,386,152	416,101,612
	収支	32,712,918	31,306,742	11,790,300	-19,316,566	-11,260,535
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
入所定員(ショートステイ含む)		人	84	84	84	84
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度
利用率(特養+ショート)		%	98	98.5	95.6	97.1
利用者数(特養+ショート)		人	30,100	30,185	29,307	29,848

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

職員研修の充実や継続的な家族等との関係強化のために、面会体制の整備を図るなど、利用者とその家族へのサービス向上に努める。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0: 協定等の水準を下回っている。
 -: 評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	アルバイトを含む全職員の研修計画を作成し、個別計画書を配布するなど職員の教育、研修に努めている。また、施設の開館時間を延長するなど家族が面会できる体制を整え、関係継続、強化を図った。
(2)施設の維持管理	A	設備、備品の経年劣化等による不具合対応や、すみやかな修理対応等、施設、設備の保守管理については、全体的に適切に行われている。
(3)利用者の満足度	A	利用者アンケートでは、サービス内容についての説明や困りごとへの相談対応などで高い満足度が示されている。利用率は昨年度より向上した。
(4)収入支出	A	利用率向上に伴う利用料金収入の増加などにより、前年度と比較し収支の差は縮小している。今後も高い利用率を維持しながら、より効率的な予算管理が求められる。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	職員の研修や、継続的な家族との関係強化に取り組むなどサービス向上を図り、利用率は向上した。しかし、収支改善のため、より効率的な予算管理が求められる。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

引き続き職場研修等による職員の資質向上を図り、利用者サービスの向上に取り組む。また、安定的な職員の確保等人員費の効率化に努め、収支改善を図る。